

吹田市健康づくり推進懇談会（第 2 回）での主な御意見

1 栄養・食生活

- （１）食育については、保健センターの取組のみではなく、庁内関係部局と一緒に推進していく必要がある。
- （２）食事については、手作りの食事をするだけでなく、今は出来合いのものも豊富にあるので、それらを上手く選ぶ学習も必要ではないか。
- （３）孤食の割合の増加は、ライフスタイルが多様化しておりやむを得ないと思う。特に吹田は学生が多く、一人暮らしの人も多くいる。また、食べ方も大事だが、食事の内容も課題である。
- （４）第 1 次の食育推進計画で、「夕食について孤食が「よくある」市民の割合の減少」を掲げており、ライフステージ別では、高年期（65 歳以上）のみ目標値を達成できているが、その原因については、どのように考えているのか。

2 たばこ

学校等で禁煙教育はすでに実施しているが、もう少し早い段階での取組として、母子保健での取組が必要ではないか。

3 運動・身体活動

すいたスマイル体操を普及させるのであれば、子どもの頃からの普及が必要である。

4 歯と口腔の健康

- （１）歯の健診については、高校を卒業すると、次は 30 歳代健診となる。その間の市としての歯の施策が必要ではないか。
- （２）歯周病と喫煙と関連づけて取り組んでほしい。

5 アルコール

若い世代へのアルコール教育が必要ではないか。

6 食を通じた豊かな人間形成

- （１）食を通じたコミュニケーションについて、子どもは塾、親は仕事が忙しいという状況の中で、今は、家庭だけでは無理な場合もある。地域でいろいろな人と話ができる環境を作っていく取組の検討が必要ではないか。
- （２）食事の準備について、家庭でも一緒に調理する機会が減っていると思われるので、家庭のみならず、別のところでもそういった機会があればいいのではないか。
- （３）食を通じた豊かな人間形成ということでは、家庭だけでなく学校や地域で食を囲むことで、人とのつながりがつくれるようにしたらいいのではないか。

7 全般

- (1) 健康寿命の算定方法については、国、府と比較できるように検討も必要。また、吹田市の健康寿命について、国、府が一般的に示している方法と異なる方法を用いるのであれば、明確に示した方がいいのではないか。
- (2) 計画の基本方針で「①生活習慣病の一次予防と重症化予防」となっているが、健康日本21（第2次）では、「一次予防」ではなく「発症予防」とう表現が用いられているので、表現を変えた方がいいのではないか。
- (3) 「歯と口腔の健康」の分野については、健康すいた21と食育推進計画で重なって位置づけられているので、どのように関連付けるのか。